

## ・大学の基本理念・目的・運営方針（教員組織等）・教育目標

学校法人天満学園（「本学園」）は創立者である足立喜三郎初代理事長によって、昭和10（1935）年に、建学の精神「教育は徳なり」を教育の理念として、徳の形成、人格の形成こそ教育の原点とする教育研究を推進する学園として創立された。

昭和9（1934）年当時の大阪は、室戸台風が近畿地方を直撃し、死者・行方不明者3,036人、家屋全壊流出4万戸という大被害をもたらした。創立者は、その被害による経済不況が続くなかで、私学独自の教育の重要性を痛感し、人材育成のため、学問にゆかりの深い大阪天満宮の西北約500mの地に学園を創立し現在に至っている。

設置する学校は、太成学院大学、太成学院高等学校、太成学院大学中学校、太成学院天満幼稚園、太成学院大学歯科衛生専門学校の5部門ある。

太成学院大学は昭和62（1987）年に当時大阪府下で唯一の男女共学の経営情報学科を設置する大阪短期大学として開学し、平成10（1998）年に定員の一部を改組転換により4年制大学を開学し、「理想と応用のバランスのとれた情報教育」を通して「創造的人材」を育成することを目標に、先見性と創造性を養い、問題発見、分析、解決により、経営方針の意思決定までができる人材の育成をめざした経営学部とし、平成15（2003）年には、大阪短期大学を改組し、人間学部（心理学科・人間文化学科）として認可を受け、人間を理解するとはどういうことかを共に考え、人間の心を探求しながら、社会に広く貢献できる人材教育をめざした。人間学部・経営学部には教育職員免許法及び施行規則にもとづく教育免許課程の認定をうけて前進し続けている。また、平成19（2007）年には看護学部を新設し、更に養護教諭免許課程の認定を受けた。

経営学部、人間学部、看護学部の新設時の教育目標等は以下の通りである。

経営学部は、経済・経営・情報の3分野を融合させた新しい学部として誕生した。経営学部には経営情報学科をおき経営情報管理運営型履修モデルと経営情報システム活用型履修モデルをおいた。

経営情報管理運営型履修モデルでは、不確実な経済環境を読み取り、広い視野からからの戦略的な意思決定ができる指導的な経営管理能力を育成するコースとして、マネジメント把握能力の育成、意思決定・判断力の育成、先端技術への適応、という特色を備え、情報教育に裏打ちされた経済学に関する知識に基づく経済・経営調査と経営戦略の策定や経済社会の多岐にわたる情報を理解し、行政機関における経済に関わる政策立案のための調査研究、経済現象の分析能力に基づくソフトの企画・運用・管理・経済情報を計量的に分析して経営に関わる情報の利活用と企画・管理できる人材育成を目的とした。

経営情報システム活用型履修モデルでは、経営の本質に迫るシステム活用と評価によって経営活動の効率化を図る能力を育成するコースとして位置づけ、システム活用能力の育成、評価・設計能力の育成、コンサルティング能力の育成、という特色を備え、経済社会の多岐にわたる情報を理解し、企業経営と経営管理ができ、経営学に関する深い知識に基づくソフトの企画・設計・活用を含む企業経営総合事務能力や経営情報を安定・定量的に分析し、問題解決のためのシステム評価と企画・運営できる人材育成を目的とした。

そのために教育課程を基礎教育科目と専門教育科目に大別し、基礎教育科目は人間形成と幅広い知識・教養を育む科目群を配置し、専門教育科目は基幹科目・応用科目・実務科目・

関連科目と4種類に分類することで経済理論を具体的に経営活動と融合できるようにした。

その専門教育科目の基幹科目は経営情報の軸となる科目群を配置し、応用科目には基礎教育科目と基幹科目で修得したことをより専門的に発展、応用する科目群を配置、実務科目としてはビジネス全般に関わる実務的応用能力を修得科目群とし、関連科目は総合的知識を持ち、学際的視野を広げることに役立つ科目群とそれぞれに特色を持たせた。

人間学部は、人間の本質に関わる時代の生き方を探り、21世紀の様々な問題解決に対し柔軟な創造的発想と行動力を持つ人材を育成することを特色とした。環境・社会・芸術・ことは、歴史・・・人間に関わる幅広いフィールドワークを教育研究の対象とし、学生一人ひとりが自分の好奇心のアンテナを広げ興味を発見し、疑問を持ち、問題解決にアプローチできるように高度なコミュニケーション・リテラシー（Communication）、高度な情報メディア・リテラシー（Computing）、協調性と外国リテラシー（Coordination）、問題解決能力および独創的な企画発想能力（Creation）を「4C能力」として位置づけて育成する教育課程によって、学生に豊かな知識を教授するのみならず教職員が学生との人間的なふれあいを通じ、切磋琢磨しながら、道徳観、責任感という高い倫理性とともに、意思伝達力、行動力、協調性など価値観が多様化した社会の中で生き抜くための基本的な能力の涵養に努め、新しい時代を生きるヒントを発見できる機会を提供できるように配慮した。

高等教育に対する社会の多様な要請・指摘に適切に responding していくために、大学として求められる役割を果たしていくのみならず、既に大学のユニバーサル化が始まりつつある時代における教育研究環境の変化をも踏まえて、総合的な教養教育と人間の専門性を提供する学部学科として、様々な方向性を具現化するために「心理学科」と「人間文化学科」を設置した。

心理学科では「目に見える行動」とそこから推測される目に見えない「心の動き」を科学的に研究する学科として、心理学の基礎的知識のほか、心のケアについての専門知識も修得すると共に、実践的な演習を中心に実証科学的な学問を身につけ、心理学の専門家やカウンセリングのスペシャリストとして、ストレスの多い現代社会に貢献できる人材育成を目標に「認定心理コース」、「カウンセリングコース」、「健康心理コース」を設定し、認定心理士、カウンセリング実務士、健康心理士などの資格と連動した履修モデルコースを設置した。

人間文化学科は、共生社会の構築をめざす中で健康文化、とりわけ「生涯スポーツ」は、Quality of life（生活の質）の向上に果たす役割が大きく期待されており、年齢・性別・障害の有無を問わず、スポーツを「すること」も「見ること」も含めて、人々が楽しみながら社会参加できる生涯スポーツを通じた「健康文化」の創造は、今まで人間が培ってきた歴史や言語、習慣、宗教、思想などの文化と並ぶ、新しい文化といえる。人間社会の背景にある様々な「文化」を通じて人間に対する理解を深め、人間社会に貢献できる人材育成を目標に「国際文化コース」、「健康スポーツコース」、「観光マネジメントコース」を設定し、プレゼンテーション実務士、健康運動実践指導者、レクリエーション・インストラクター、キャンプ・インストラクターなどの資格と連動した履修モデルコースを設置した。

看護学部は、医学や医療技術の進歩がめざましい反面、人々の健康や病気に対する考え方や価値観、対処の仕方にも多様性が見られること、さらに生命の尊厳や患者の人権に対する意識の向上も見られる現状において、人々のニーズに沿いながら安全で良質の医療を提供していくことが医療現場で求められていることから、次の5点を本学部学科の教育方針および教育目標としている。

- (1) 高い倫理性と教養ある豊かな人間性を持った保健師・看護師の養成
- (2) 地域の「医療」、「保健」、「福祉」一体のチームリーダーとしての素養の育成
- (3) 対象者とのカウンセリング能力と医師との専門的コミュニケーション能力の育成
- (4) 既設学部との有機的な連携
- (5) 看護師の養成と医学に基づく知識を基礎とし、国試合格に向けての専門知識教育

教育課程の編成の考え方及び特色については、卒業に必要な単位数を取得すると、看護師と保健師の国家試験受験資格が得られ、教職課程として養護教諭一種免許が取得可能な教育課程を設置している。

「教育方針と教育目標」を具現化するための教育課程を構成しており、看護師および保健師養成の統合カリキュラムを充足する教育課程を編成している。卒業に必要な単位数は、本学の特色と学部の独自性を反映させながら、過密教育を避け学士課程にふさわしい主体的学修が可能な129単位(以上)に設定している。

教育課程を編成するにあたり、教育目標を具現化した次の5点を特に特徴づけて構成している。

- (1) 建学の精神を理解し、人間生命の尊厳への深い畏敬の念を持ちながら、その人間が置かれている諸状況への幅広い洞察力と温かい感受性を養い、豊かな人間性を備えた保健師・看護専門職業人として生きていく基礎的教養を身につけること
- (2) 「人間の健やかなあり方」の探究をとおして、高い倫理性と使命感をもって人間とその社会に貢献できる確かな専門性を養うこと
- (3) 保健師・看護師に共通した看護学に関する専門基礎知識と技術・態度の習得に基づく論理、教養と、保健・医療・福祉の分野における使命感と社会貢献の心をもったエリートとして資質の高い看護専門職業人として貢献できること
- (4) 専門領域における知識と技術の高度化や地域社会のニーズに柔軟に対応できる能力と論理的、創造的に開発しながら行う看護実践を身につけること
- (5) 看護倫理にかかる教育を強化することによって人間関係形成過程を伴う体験学修ができること

以上、建学の精神「教育は徳なり」を教育の理念、徳の形成、人格の形成こそ教育の原点を基盤とした各学部についても、その時代に必要な要素を加えながら現代に至っている。